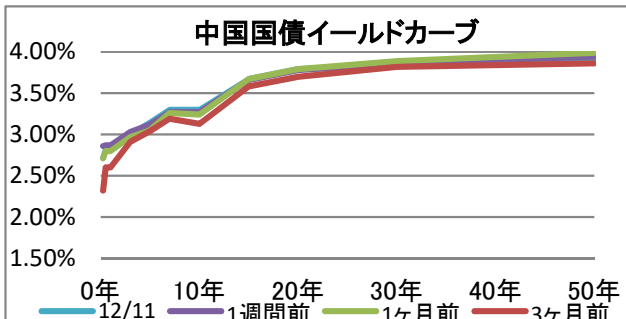
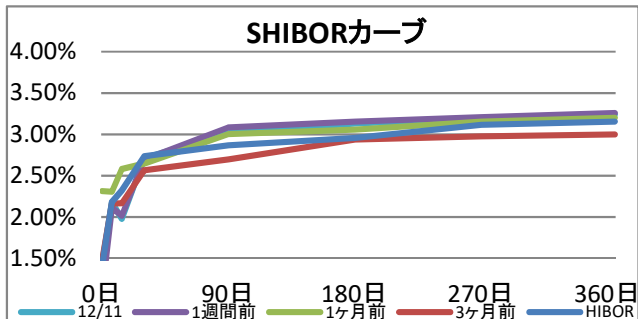


①市場概況

基準レート		2020/12/11	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.5405	-0.0102
	JPY/CNY	6.2737	-0.0344
SHIBOR	3M	3.0160%	-0.0670%
国債利回り	10年	3.30%	+0.03%
上海総合指数		3,347.19	-97.39



(1) 概況

年末が近づく中、世界的な新型コロナウイルス感染拡大や英国と欧州との通商協議難航、米議会での追加景気刺激策協議長期化等の懸念材料に加え、米中関係悪化懸念も根強く、中国金融市场はレンジ内で弱含み推移となり、株式市場はやや大幅な下落に転じている。中国国内では、PPIのマイナス幅が予想を下回ったことにより景気回復期待が一段と高まり、社債デフォルトへの懸念も沈静化してきている。

中国人民銀行は、本年3月に1.25に引き上げていたクロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数を1.0に戻して国外からの資金流入抑制に転じている。

米トランプ政権の中国企業投資制限措置を受け、先週のFTSEラッセルに続き、S&PダウジョーンズとNASDAQが株価指数構成銘柄から一部中国企業の除外を決める一方、中国中央国債登記結算とシンガポール取引所は、債券取引に関する戦略的協力に関する包括覚書に合意している。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日2,000億元、MLF期日3,000億元に対し、新規リバースオペ1,500億元を実施し、差し引き3,500億元を回収している。

(3) 主な経済指標

・CPI (11月) は、-0.5% (10月0.5%) と2009年以來のマイナスに転じた。これは、食品以外の価格低迷が続く中、食品価格が下落に転じたことによるもの。雇用回復の遅れが消費拡大に影響している可能性や小売業における厳しい価格競争の影響が指摘されている。

・PPI (11月) は、-1.5% (10月-2.1%) は、依然マイナスながらマイナス幅は縮小。化学や燃料等の原材料価格が商品市況の影響により上昇している一方、日用品等の出荷価格の低迷が続いている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4310%	1.3000%	1.8500%	
1W	2.1780%	7.0000%	7.2000%	1.7000%
2W	1.9780%	2.4000%	19.0000%	1.7000%
1M	2.7120%	2.8200%	4.5000%	2.8500%
3M	3.0160%	4.1900%	4.1000%	2.9400%
6M	3.1300%	3.7000%		3.0200%
9M	3.1950%			3.1400%
12M	3.2390%	4.3500%		3.1700%

中国人民銀行は先週MLFによる資金供給を実施し、今週に入ってから少額ながら資金供給を続けていることから、資金需給は徐々にタイトになりつつあるものの資金を取り急ぐ向きは少なく、金利水準に大きな変化はない。ターム物の出合いは1ヶ月の3.0%前後を除いて限定的となっている。

NCDも活発に取引される中で金利の低下が続いており、ターム物の金利水準は1ヶ月(年末越え)2.90%前後、3ヶ月2.95%前後、6ヶ月3.00%前後、1年3.15%前後に低下している。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.02%	0.03%
1W	0.03%	0.04%
1M	0.13%	0.15%
3M	0.33%	0.35%
6M	0.60%	0.65%
12M	0.80%	0.85%

市場の資金需給に大きな変化はなく、金利水準は1ヶ月が0.15%前後まで上昇しているものの、3ヶ月では0.35%水準が出し気配の状況に大きな変化はない。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.72%	2.74%	2.87%	3.07%	3.67%
6M	2.81%	2.84%	2.97%	3.16%	6.89%
1Y	2.83%	2.91%	3.15%	3.34%	3.92%
3Y	3.00%	3.25%	3.48%	3.70%	4.34%
5Y	3.14%	3.38%	3.72%	3.93%	4.66%
10Y	3.30%	3.66%	4.00%	4.25%	5.02%

債券市場では、年末が近づいていることに加え、景気回復期待が高まる中で短期金利が低下を続けていることや社債のデフォルト懸念が沈静化しつつあることから、デュレーション短期化と社債市場への資金シフトの動きが見られている。イールドカーブは、デュレーションの短期化に伴うスティーピングとクレジットスプレッドの縮小が続いている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	19.5 / 20.2
1M	128.0 / 136.0
3M	390.0 / 399.0
6M	761.0 / 769.0
9M	1137.0 / 1150.0
12M	1528.0 / 1540.0

対ドル基準レートは6.5405と前週末比-102pipsのドル安元高、対円基準レートは6.2737と同-344pipsの円安元高と、週央にはドル安により6.53台での設定が続いていたものの、6.54台に戻している。国内市場取引においても、ドル安に加えてPPIのマイナス幅が予想を下回ったことを受けた景気回復期待から6.52台まで元高が進んでいたものの、人民元高値警戒感や年末のドル需要もあって6.54台に戻している。

先物は、人民元金利の低下や年末要因や米中関係悪化懸念による投資資金流入縮小を受けて縮小が続いている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.56%		2.05%
6M	2.59%	3.00%	2.17%
9M	2.61%	3.03%	2.22%
1Y	2.63%	3.06%	2.20%
3Y	2.82%	3.34%	2.42%
5Y	2.99%	3.54%	
7Y	3.10%	3.68%	
10Y	3.23%	3.84%	

債券市場でデュレーション短期化と社債利回りの低下が進んでいることから、全体的に下方シフトする中で小幅ながらスティーピングに転じている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、信用リスク懸念の一段の低下により小幅ながら縮小を続けている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入